

2008 年度 活動報告

I 組織・運営

1. 第 32 回定例総会

日時：2008 年 6 月 7 日(土)13 時～17 時

場所：大阪人権センター 6 階ホール

記念企画：「共生共育をどうすすめるか～特別支援教育を超えて」

シンポジスト 徳田 茂さん（金沢市障害児通園施設ひまわり教室代表）

山田 真さん（小児科医）

コーディネーター 堀 正嗣（子ども情報研究センター副所長）

出席者：62 人 表決状提出：245 人 計 307 人

*会員総数（個人会員 347、団体会員 117 計 464）の過半数出席

記念シンポジウムは 172 名の参加で熱い議論が交わされた。終了後は、シンポジストの徳田さん、山田さんを囲んでスタッフ交流会を開催し、交流を深めた。

2. 会員の拡大と広報の充実

(1) 会員の現況

・2008 年 4 月

個人会員 346 団体会員 117 賛助会員 253

↓

・2009 年 3 月末

個人会員 342 団体会員 111 賛助会員 229

(2) 会員の拡大と広報の充実

- ①ホームページおよびブログの更新に努め、昨年度に引き続きアクセス数が増加した。
- ②現会員に継続していただくため、講座・学習会等の案内、事務局情報を随時、発信した。
- ③チャイルドライン夢メッセージ展を中心に企業の協賛・後援を得るべく、広報に努めた。
- ④センターの相談事業（チャイルドライン O S A K A、ファミリー子育て何でもダイヤル、子ども家庭相談室）を知ってもらうべく、随時カード・チラシを配布して広報に努めた。

3. 企画委員会

今年度も各部門から企画委員を委嘱し、センターの事業企画・運営について議論した。

《2008 年度企画委員》

白砂大地（大阪市子ども青少年局ほっとスペース事業）、石打澄枝（大阪府子ども家庭サポーター協議会）、内山洋子（チャイルドライン O S A K A）、宇治野崇弘（ユアボイス）、奥村仁美（はっぴいポケット）、川原由香里（子どもとあそびのネットワーク）、南田安紀子（保育部ももぐみ）、小谷訓子（理事）、白川季句子（ファミリー子

育て何でもダイヤル)、堀井二実(保育)、山中多美男(顧問)
田中文字子、堀正嗣、山下裕子、国松祐子、山崎秀子(事務局)

* 年度途中で、下記のとおり委員の交代と新入があった。

保育部ももぐみ：南田安紀子→奥村仁美

ファミリー子育て何でもダイヤル：白川季句子→南田安紀子

はっぴいポケット：奥村仁美→古谷宏美

つどいの広場：辻本みゆき(新規)

第1回：2008年6月9日(月)

- ・ 2008年度企画委員紹介
- ・ 第32回総会報告
- ・ 各部門活動報告・計画

第2回：2008年8月11日(月)

- ・ 活動の報告および今後の予定
- ・ 各部門から

第3回：2008年10月20日(月)

- ・ 企画委員の交代
- ・ 各部門から
- ・ 活動の報告および今後の予定
- ・ 来年度総会について

第4回：2008年12月22日(月)

- ・ 新企画委員の紹介
- ・ 各部門から
- ・ 活動報告
- ・ 来年度総会について

第5回：2009年2月9日(月)

- ・ 活動報告
- ・ 個人情報保護について
- ・ 各部門から
- ・ 2009年度総会について
- ・ 子どもの権利条約国連採択20周年イベントについて

第6回：2009年4月13日(月)

- ・ 2009年度総会について
- ・ 各部門から

4. 「はらっぱ基金」

子ども情報研究センターの活動のさらなる充実を目指し、子ども家庭の権利擁護活動を財政面で支えていただきたいと、2007年に「はらっぱ基金」を創設した。今年度も多くの方々にご協力いただき、現在の基金総額は下記のとおり。

基金総額 5,567,200円(2009.3月末現在)

Ⅱ 事業

1. 子どもの人権、人権保育・教育等に関する研究、研修事業

(1) 共同研究者会議

今年度は会議を開催できなかった。

(2) テーマ別研究部会

「障害児の生活と共育を考える」「子どものことばと生活」「からだ育て」「乳幼児のあそび・集団」「子ども人権」「子育て連携」「子育て支援」の7つのテーマ別に会員の自主ゼミナールとして運営した。(詳細は別添)

(3) 第30回人権保育教育連続講座

前期 226名、後期 221名の参加。1講ごとの参加人数は80～100名程度。今年度は私立幼稚園からの参加も目立った。プログラムは次の通り。

全体テーマ：「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」の改定をめぐって

【前期プログラム】

	日程	テーマ	講師
1	6/3 (火)	改定「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」を読む ～改定のポイントをめぐって	田中 文子 (子ども情報研究センター)
2	6/10 (火)	0歳から育ちあう保育 ～乳幼児教育にいま、問われること	堀井 二実 (園田学園女子短期大学)
3	6/17 (火)	保護者とつながるコミュニケーションワーク	奥村 仁美 (保育部ももぐみ)
4	6/27 (金)	保幼小連携の実践と課題 ～子どもの育ちを積み上げる保育・教育を	井上 寿美 (関西福祉大学)
5	7/1 (火)	保護者とともに～保育所・幼稚園に求められる 子育て支援	松尾 純代 (大阪市立子育ていろいろ相談センター)

【後期プログラム】

	日程	テーマ	講師
1	10/20 (月)	障害をもつ子ども、もたない子ども、ともに育つ 保育教育	堀 正嗣 (熊本学園大学、 子ども情報研究センター)
2	10/28 (火)	子どもの人権・親の人権 ～一人ひとりが生き生きと過ごすために	澁野 かず子 (川西市立川西保育所所長)
3	11/4 (火)	しなやかなからだ・ことば・リズムを楽しもう ～子どもとともにつくる保育	谷畑 恵子 (子ども情報研究センター)
4	11/11 (火)	児童虐待防止地域ネットワークにおける保育所・幼 稚園の役割	小掠 昭 (わかくさ保育園園長)
5	11/28 (金)	保育教育の構図を整理する ～子どもへのまなざしの再生のために	桜井 智恵子 (大阪大谷大学、 川西市子どもの人権オンブズパーソン)

(4) 第29回全国保育集会（自治労主催／子ども情報研究センター協賛）

2008年8月1日（金）～3日（日） 山形県上山市にて開催。

集会テーマ：子どもは主権者、21世紀の保育は地域から

～やっしょ まかしょ 夢おどる！心おどる！紅花の里

1日目：全体集会 記念講演「笑いのちから」大棟耕介（ホスピタルクラウン）

2日目：「人権を大切に、共に育つ保育」「保育所保育指針と保育の質の向上」ほか分科会

3日目：「子ども・家庭を支える視点、保育支援」ほかステップアップ講座、

「だがしや楽校」ほかワークショップ、分科会

(5) 第1回自然教室「湖は生きている」

子ども情報研究センターでは折にふれ、石原前理事長の自然教室を実施してきたが、自然に造詣の深い森山新理事長を迎え、これからも自然に親しみ、考える機会を積極的に企画していきたいと考え、昨年度の準備会に続き、第1回自然教室を開催した。

日時：2008年11月29日（土）～30日（日）

行程：近江八幡水郷めぐり～よし博物館～沖島～沖島湖畔、けんけん山の自然めぐり

参加者：おとな7名、子ども1名

2. 編集・出版、情報提供事業

(1) 機関誌『はらっぱ』（月刊）の編集・発行

今年度も月1回編集会議を開き、編集にあたった。

編集委員：田中文子（編集長）、大森順子、奥井凜、国松祐子、合田由紀子、近藤亜矢子、堀井二実、増山育子、三浦侑子、社納葉子

* コーナー構成

表紙／もくじ／特集／グラビア／ティーンズメッセージ from はらっぱ／架け橋（井塚直樹さん連載）、ハロハロと思いつらぬれば（寺本智美さん連載）（隔月）／子どもの世界・おとなの世界（浜田寿美男さん連載）、サバイバル手帳（辛淑玉さん連載）（隔月）／子ども時評／保育・ゆめ・未来／学校スケッチ／誌上・人権保育連続講座、誌上・子ども家庭支援講座（隔月）／Point of view from gender／保育所・幼稚園の「これってどうなん？」／子どもと語る／なんじゃらほいエコ探究、親と子の〇〇教室（隔月）／働くこと・育てること／LETTERS／自由空間☆きらり／いろいろポケット／だから、これが好き／センター発／子ども家庭サポーターだより／〇月の予定／ニュース切り抜き帳／情報／ピックアップ／事務局日誌

* 特集テーマ

4月号：特別支援教育、1年

5月号：共生共育のこれから～特別支援教育を超えて

6月号：「放課後子どもプラン」の導入で、子どもたちの放課後は・・・。

7月号：「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」の改定～現場の声をきく

8月号：私と沖縄をつなぐもの～思い出、今、そして未来へ～

9月号：「家庭教育」ってなに？① 家庭教育雑誌からなにが見える？

- 10月号：「家庭教育」ってなに？② 家庭教育雑誌がえがく世界
- 11月号：つながりあう暮らしのなかで～「地域」にこだわる私たち
- 12月号：「南京大虐殺」を知る
- 1.2月号：学校はさまざま～ニュージーランドの選択
- 3月号：保育の公的責任は？～すすむ多様化

(2) 『改定「保育所保育指針」資料と解説』第1・2集 編集出版

第1集：5月発行（6500部）

第2集『新「保育所保育指針」“実践”のポイント26』：7月発行（8700部）

(3) ホームページ、ブログ

ホームページおよびブログの更新に努め、情報発信を行った。2008年度のホームページアクセス数は71433。2007年度に比べ、アクセス数は67%アップ。

ホームページ <http://www.kojoken.jp>

ブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/kojoken/>

3. 地域子育て支援ネットワーク事業

(1) ファミリー子育て何でもダイヤル（連合大阪からの事業委託）

○電話番号 06-6577-1001

毎週水曜日午前10時～午後8時（年末年始祝日は除く）

○体制 1日2～3シフト（1人につき月1～3回のローテーション）を組んで担当

○スタッフ 35名

○相談概要（2008年4月2日～2009年3月25日）

件数：252件 時間：6462分 日数：49日

○スタッフミーティング

日程：7回（4月・5月・6月・9月・11月・1月・3月）

内容：事務連絡・ケース検討・スタッフ交流会

○スタッフ合宿

日時：8月23日（土）～24日（日） 参加者：18名

内容：出会いのワーク

ダイヤルの原点一聴くということ

はらっぱ叢書②『あなたの声が聴きたくて』読み合わせ

からだほぐしヨガ

価値観のワーク

○広報活動 カード作成：1万枚

○年次報告書の作成

1年間の活動の成果をまとめ、子育て家庭の現状と課題を広く社会に発信していくために、年次報告書を作成した。

○はらっぱ叢書②『あなたの声が聴きたくて』増刷 500部

(2) 親と子の広場「はっぴいポケット」

子どもの人権を大切にするグループ紹介誌『つむぐつなぐ』を発行し、会員仲間のつながりを力にして、大阪市つどいの広場事業にかかわる。2008年度は、「はっぴいポケットみ・な・と」の応援から始まった。自主事業の「はっぴいポケット」も、協働事業であるつどいの広場も、いろいろな立場の人が『つどう』場であり、ともに居心地のいい空間をつくっていききたいと活動をつづけている。

つどいの広場から、何を発信していくのか、立ち止まりながら確認しあった。子ども情報研究センターでの居場所づくりの活動は、「子育ての共同化」の思いから始まり、子育ての不安やしんどさからの解放は、子どもの人権、おとなの人権を尊重することであり、人権の視点からつくられた居心地のよさを地域や社会にひろげていきたいと思う。

2007年度の大阪総合保育大学内ではっぴいポケットつながりから、2008年度は、子ども総合保育センターで、月1回、はっぴいポケットを実施した。参加者や行政とのつながりから、大阪市東住吉区の子育てネットワークにかかわった。また、つどいの広場では、少人数でゆっくりとトークできない場合もあり、「もやもやポケット」と称して、2009年1月には、piaNPOの場で3組の参加者と聴きあった。

(3) 保育部ももぐみ

保育部ももぐみは2007年度に、地域子育て支援ネットワーク事業のひとつとして、子どもの人権を大切にする保育を考え、それを広げようと、活動を始めた。2008年度は、子ども・保護者・保育者のかかわりを考えながら、講座やワークショップをしたり、保育依頼を受けて、ももぐみ保育の実践に向いたりした。

〔主な活動〕

- ・ 講座つき保育「これからの子どもとわたし」7/4（金） piaNPO
（財）21世紀職業財団大阪事務所と共催
親は、再就職も含めて今後のことを考え、子どもはももぐみ保育担い手とともに過ごす。
- ・ おしゃべりの会 「夏休み！子どもとともにたのしく、なつかしく」8/4（月）
「アイヌの子育てをきく」1/30（金）
- ・ 研修会「ももぐみ温泉で、リリーフさんと話そう」8/21（木）
- ・ サンスター株式会社との協働事業に参画
「親子でからだほぐしとおやつづくり」10/4（土）
高槻市立総合市民交流センター
からだほぐしとおやつづくりのワークショップの実施。
ミニ冊子「からだほぐしを暮らしの中に」を作成。ミニ冊子は、当日の参加者に配布。
- ・ 保育担い手派遣 年間38件
依頼元…グリーンコープおおさか、しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西、
港区民センター、大阪府里親シンポジウム、堺市母子寡婦福祉会、
つどいの広場 等
- ・ ももぐみ通信『ももぐみだより』発行（7月・11月・3月）

(4) 子どもとあそびのネットワーク

- ①親子講座「いろいろなあそびを楽しもう」子育ていろいろ相談センターにて（6月）
- ②「堺子育てフェスティバル」に参加（10月）
- ③「畑遊びの会」に参加（8月、12月）
- ④「タイ保育者の皆さんとあそびを考える会」に参加（10月）
- ⑤隔月定例会
- ⑥あそび集記載のあそびを編集

①の親子講座、7回目の今回のサブテーマは「パパからの提案」。たくさんの素材からあそびを考えてみよう、参加者・スタッフともに身近な素材を持ち寄った。スタッフからの単純なあそび例に続いて、ファミリーからあそびの提案が次々出された。その後途切れたかとも思ったが、リラックスした雰囲気からの発想がつながり、学びあえた。

②のイベントでは、さまざまな年齢の子どもが入れ替わって、あそびの展開があった。

⑥のあそび集に関して、出版会社との打ちあわせを行った。

(5) 大阪府子ども家庭サポーター協議会（サポーターネット）

- ・子ども家庭サポーター交流会（2回） 7/5（土）2/13（金）
- ・2008年度フォローアップ研修 連続講座（3回）

日程	テーマ	講師
11/14（金）	改正児童虐待防止法について	川原恭子さん （大阪府児童家庭室家庭支援課 育成グループ）
11/28（金）	どうしてDVが生まれるのか～ジェンダーの視点から語る	加藤伊都子さん （フェミニストカウンセリング堺・フェミニストカウンセラー）
2009年 1/29（木）	格差社会からみえる子どもたち	伊藤悠子さん（NPO子育て運動えん理事／すてらめいとクリニック看護師／相談員）

- ・3/14（金）フォローアップ研修、交流会
ひとり親家庭の支援について 講師：大森順子さん
- ・定例会（6回）
5/12、7/28、9/1、11/10、1/26、3/16（いずれも月曜日）
- ・助成事業「子ども家庭サポーターさんをサポートします！」
各部門への特別予算10万円を使って、助成金申請を学びあう企画を立て実施した。

助成先

- 東大阪子ども家庭支援 Genki 「チャイルドライン受け手支え手研修」（東大阪市）3万円
- 放課後クラブ チャレンジ・キッズ「虹色の十五の春を目指して」（枚方市）2万円
- ひらかた子育て支援ネットワーク「子育て応援ガイドブック作成事業」（枚方市）3万円

4. 子どもエンパワメント事業

(1) チャイルドラインOSAKA

①開設時間

毎週金曜 16 時～21 時 TEL0120-99-7777 (06-6577-7070)

※子どもの日チャイルドライン全国キャンペーン以後フリーダイヤルで実施。

子どもの日チャイルドライン全国キャンペーン

チャイルドライン秋の全国キャンペーン

②アクセス件数（電話件数）1800 件

③スタッフ 29 名

④定例会議

毎月第 3 土曜日 13 時～15 時半で開催。

⑤広報チーム会議 不定期開催。

⑥広報

・4 月：子どもの日キャンペーン。大阪市内の児童関連施設にポスター配布。

・11/21～2/24：大阪市教育委員会の協力を得て、市内小中学校にカードを配布。（全 4 回）

⑦9/8～9/15：チャイルドライン夢メッセージ展 2008 の開催

⑧その他

・6/7 チャイルドライン支援センター総会

・6/8 第 1 回地域会議

・8/23 関東～近畿エリア会議

・9/21 近畿合同研修 in 京都

・9/23 全国ネットワーク会議（東京）

・10/18、19 チャイルドライン全国研修 in 東京

・1/11 近畿エリア会議&研修 in 大阪

・2/15 近畿エリア会議&研修 in 京都

・2/28 全国ネットワーク会議（東京）

・3/31 全国研修担当者会議（東京）

(2) チャイルドライン夢メッセージ展 2008

大阪市港区

日程：9 月 8 日（月）～15 日（月・祝）

場所：天保山マーケットプレイス

入場者数：1600 名（8 日間）

事業内容

①絵馬展：スポーツ、芸能、文化、芸術等各界でご活躍の方が子どもたちへのメッセージを描いた絵馬作品（絵画、文字、貼り絵等）98 枚を展示

②「絵馬」を描くコーナー

来場者が絵馬カードに、夢や目標、思い、子どもたちへのメッセージを描く

③子どものあそびコーナー（土日のみ開催）

紙芝居、糸電話づくり、「ブンブンごま」づくり

企業協賛：大阪広域生コンクリート協同組合、サンスター株式会社、連合大阪
京都精華大学、株式会社キンキ印刷プロ

松原市

日程：11月15日（土）～19日（水）

場所：松原市役所

入場者数：731名（5日間）

主催：子ども情報研究センター、松原市、NPO法人チャイルドライン支援センター

※松原市「ひゅーまんフェスタ」の一事業として行った。

(3) 子ども家庭相談室

①開設時間：毎週月・火・木 10時～20時 TEL06-6577-1001

面接は木曜のみ（面接予約 TEL06-4708-7087）

②相談件数：電話 535件、面接 45件

③「被害者救済システム」連携支援機関（大阪府教育委員会からの業務委託）

申立 1件…事前調整で終了

④年次報告書の作成

子ども権利擁護活動の現状と課題を広く社会に発信していくため、年次報告書を作成。

⑤助成金：大阪府共同募金会

(4) ユアボイス

2008年度の活動予定としていた「ホームページ版の過去番組もブログで見られるように」は、レンタル先の接続不調もあって未だ完了していません。3月後半頃から安定の兆しが見えてきましたので、近いうちに再開予定。ホームページ版のほうは以前から変わらず変化はありませんでしたが、ブログ版の番組の閲覧者数が10月頃より増加しています。08年度初めは1番組 50～80程度が2月には200以上にまでなっています。残念ながら番組の大元になるコメントは数件しか入っていませんが、手応えは少しずつ増えてきている感じです。

ホームページ版 <http://www.kojoken.jp/yourvoice/topyourvoice.htm>

ブログ版 <http://yourvoiceblog.seesaa.net/>

(5) ティーンズメッセージ from はらっば

今年度も引き続き、『はらっば』誌上でさまざまな子どもたちの生の声や活動を発信した。

4月号：私が元気になれる場所、きの高！

5月号：チャレンジラグビー

6月号：私は、私らしく

7月号：長期入院中。今の思いを語る

8月号：19歳、高校生の胸のうち。

9月号：いろんなものを見聞きして、将来は起業家。

10月号：Osakan in America

11月号：子どもと遊んだ！『はっぴいポケットみ・な・と』

12月号：僕のなかのタイ。

1.2月号：将来は、声優、アイドル、脚本家…、夢は羽ばたく。

3月号：今年もやるで！ミニ☆大阪

5. 行政との協働

業務の委託をはじめ、行政との協働を行った。

(1) 大阪市子ども家庭支援員研修事業（大阪市からの業務委託）

大阪市が2002年度より児童虐待防止施策として養成する「子ども家庭支援員」養成研修と現任研修を行った。

① 養成研修

日程：10月23日～11月27日

会場：大阪市立子育ていろいろ相談センター、大阪市役所第2会議室地下1階

修了者数：受講者4名のうち4名修了

【プログラム】

日	テーマ	講師
10/23 (木)	開講式	山下裕子 (子ども情報研究センター事務局長)
	「子ども家庭支援員制度」とその役割	市村好弘 (大阪市中央児童相談所児童援護担当課長)
	大阪市の児童虐待の現状と課題	高部修 (大阪市中央児童相談所担当係長)
	現代子育て事情	松尾純代 (大阪市立子育ていろいろ相談センター)
10/30 (木)	虐待をうけた子どものこころとケア	中畷真知子 (大阪市中央児童相談所担当係長)
	訪問支援の実際 保健師のとりくみ	辻井敦子 (大阪市こども青少年局子育て支援部担当係長)
11/10 (月)	聴く	堀正嗣 (熊本学園大学教員、子ども情報研究センター副所長)
11/20 (木)	子ども家庭支援員の役割と実際	農野寛治 (大阪大谷大学)
11/27 (木)	修了式 講座を振り返って	山下裕子 (子ども情報研究センター事務局長)

② 現任研修

対象：48名

会場：大阪市立子育ていろいろ相談センター

第1回：2008年10月16日（木）10：00～12：00

子育て家庭の現状と子ども家庭支援員の役割

講師：農野寛治（大阪大谷大学）

第2回：2008年12月11日（木）10：00～12：30

精神的なしんどさをかかえる人の支援

講師：垣内陽子（大阪市中央児童相談所）

第3回：2009年2月20日（金）10：00～12：30

訪問支援にあたって大切にしたいこと、交流会

講師：辻井敦子（大阪市こども青少年局子育て支援部担当係長）

農野寛治（大阪大谷大学）

（2）大阪市立青少年会館青少年サポート事業（（財）大阪市教育振興公社からの業務委託）

「自由空間☆きらり平野」

①対象：原則として小中学生年齢の学校に行っていない子ども。

②開設日時：火・水・金・土 11：00～15：30（祝日は休み）

③スタッフ：各コーディネーター1名、メンタルフレンド2名

④登録者：14人、1日あたりの平均参加者数6人

（3）「被害者救済システム」（大阪府教育委員会からの業務委託）

・申立1件…事前調整で終了

・「子どもの権利侵害に対する、中立・透明性をもった、新しい子どもの救済制度について」協議

（4）24時間電話相談（大阪府教育委員会からの業務委託）

①開設日時：2008年4月1日～2009年3月31日の祝日・休日の全日及び17：30～9：30

②電話番号：0570-078310（全国統一電話番号）、06-6577-5125（直通電話番号）

③相談件数：1552件

（5）大阪市つどいの広場事業（大阪市からの事業委託）【新規】

大阪市つどいの広場事業の委託を受け、市内3か所でつどいの広場を新たに実施した。

・港区：はっぴいポケットみ・な・と（月・火・水・金・土10：00～15：00）4月～

・淀川区：育児&育自“この指と～まれ！”（月～金11：00～16：00）10月～

・北区：みつるポケット（月～金10：00～15：00）2009年3月～

（6）大阪市児童虐待防止地域協力員現任研修（大阪市からの業務委託）【新規】

大阪市は、児童虐待問題に対応するため、子ども・家庭への支援が重要であることから、2005年から2007年にかけて主任児童委員や市民ボランティア等から構成される児童虐待予防地域協力員（以下「地域協力員」という。）1251名を養成。地域協力員の活動がより積極的に展開するために、現任研修プログラムを企画提案し、実施した。

①22区で研修会の開催

テーマ：地域協力員として 今 私たちにできること
～おまたせしました！！ 聴かせてください！～

期 間：2008年11月13日～2009年1月29日

内 容：ワークショップ形式で、参加者同士が声を発し、地区の特徴を活かした「協力員として今できること」について話しあいを行う。

②シンポジウムの開催

テーマ：地域協力員として 私たちが「今」できること パート2

で、見守るってどんなこと?!～24区のみなさんがつくる シンポジウム～

シンポジスト：田中文子（(社)子ども情報研究センター所長）、金香百合（HEAL ホリスティック教育実践研究所所長）、伊藤悠子（看護師・特定非営利活動法人えん理事）、久保樹里（大阪市中央児童相談所児童福祉士・ケースワーカー）

日 時：2009年2月3日(火)

場 所：クレオ大阪中央

参加者：274名

(7)その他

河内長野市要保護児童対策地域協議会研修の企画運営

6. その他

(1)『自治労の保育運動』編集（自治労中央本部からの業務委託）

年3号編集。各2000部発行

第17号（2008年7月）：特集・保育人材の確保と定着に向けて

第18号（2008年11月）：特集・公立保育所のこれから

～「基幹型保育所」のあり方を探る

第19号（2009年2月）：特集・保育の質の向上に向けて

～保育所保育指針の改定ポイントから

(2) 国際交流事業

アジア保育・教育交流推進実行委員会「大阪マイペンライ」に参加。監査役を務める。

①15周年事業タイ保育研修に講師派遣：合田由紀子、徳永和美（5月21日～26日）

奥村仁美、南田安紀子（10月13日～19日）

同研修モニタリング：国松祐子（2009年2月4日～9日）

②タイからの研修生の受け入れ ドゥルデイ・ウムソムタム（愛称ムアイ）さん

8月5日～16日

(3) 講師紹介事業

行政、社会福祉協議会、NPO等が主催する講座等に講師の紹介をした。

講座テーマは、「子どもの権利擁護」「子どもの人権」「子どもとのコミュニケーション」「子どもの声を聴く」「児童虐待防止」「保育一元化について」「スクールセクシュアルハラスメント防止」「保育ボランティアとは」「子どもの遊び」「からだほぐし」等。

(4) 講座企画・運営委託事業

- ・河内長野市要保護児童対策地域協議会研修の企画運営（再掲）
- ・民主党・無所属ネット大阪府議会議員団からの委託業務
「子どもの障害にかかわる相談の現状と課題」政策提言書作成

(5) インターンシップ（実習生）の受け入れ【新規】

当初は大学生を主に想定していたが、当センターの多岐にわたる活動ゆえ、高校生から社会人までの幅広い人材が集まった。内訳は、社会人2名、大学生（留学生含む）5名、高校生3名、職場体験2名 計12名。現在、大学生（留学生）2名が活動中。

(6) 企業と連携した子育て講座、イベント等の企画・開催

①チャイルドライン夢メッセージ展 2008【再掲】

日 時：2008年9月8日（月）～15日（月・祝）

会 場：天保山マーケットプレース 2F フードコート

入場料： 無料

主 催：子ども情報研究センター、NPO 法人チャイルドライン支援センター

協 賛：大阪広域生コンクリート協同組合、サンスター株式会社、連合大阪、
京都精華大学、株式会社キンキ印刷プロ

広告協賛：子・己育ち相談リリース、NPO 法人国際子ども権利センター

NPO 法人 SAKAI 子育てトライアングル、NPO 法人六甲クラブ

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西、ふえみん大阪

childroom まめっこ

協 力：天保山マーケットプレース、株式会社アド・アム

後 援：大阪府教育委員会、NPO 法人関西国際交流団体協議会

②親子でからだほぐしとおやつづくり

日時：2008年10月4日（土）13:30～15:30

場所：高槻市立総合市民交流センター

主催：子ども情報研究センター保育部ももぐみ

協賛：サンスター株式会社

(7) 関連団体との共催事業

○子ども支援学シンポジウム「子ども支援のこれから」～日本の子どもオンブズパーソン 制度の10年を振り返る～

日時：11月15日（土）13:30～17:00

会場：千里金蘭大学大阪梅田キャンパス

参加者：70名

共催：子どもオンブズパーソン研究会、子どもの権利条約総合研究所